

## 2023年度放射線教材コンテスト

### 審査基準

審査は、以下の「基礎点」と「加点」の審査基準を用いる。選考にあたっては、審査委員が順位付けした結果を集計し、総合的に判断するものとする。なお、審査委員が所属する大学から応募された作品について、該当する審査委員はその作品に対して選考しないこととする。

本コンテストは放射線教育のさらなる広がりへ寄与すべく開催するものであることを鑑みて、より多くの放射線教育関係者の参加を促す観点から、同一校から3作品以上が最終選考作品に選ばれた場合、上位2作品までを入選とし、3番目以降の作品を「準入選」として評価する。

#### 1. 基礎点

##### (1) 教材の作成にあたって

- ・学校において実演できる内容であること
- ・実演を行うにあたり、参加者等に危険性のないこと（放射性物質の管理を含む）
- ・実演を行うにあたり、著しく費用がかかる等の大きな障害のないこと
- ・教育上不適切な表現、人によっては不快感を抱かせるような表現のないこと
- ・放射線教育普及の観点から、教育現場等での応募された教材の活用に、応募者が同意していること（活用に際しては公表される予稿を引用する。）
- ・指導教員による指導が受けられること

##### (2) 学校等における放射線教育の普及啓発に資する教材であるか

- ・対象と伝えたい内容が、発達段階に合わせて適切に設定できているか
- ・教職員にとって取り組みやすい内容となっているか
- ・材料が、安価かつ入手しやすいものであるか

##### (3) 放射線に関する正確な知識理解、普及啓発に資する教材であるか

- ・目的が明確であり、伝えたい内容が、わかりやすく表現・模擬できているか
- ・教材が表現・模擬できていない（誤解を生む可能性がある）内容を区別し、その理由を科学的に説明できているか
- ・応募教材に関係する先行研究、参考文献をひろく引用しているか
- ・福島第一原子力発電所の事故以後今もなお根強く残る風評や偏見・差別の払拭への寄与が期待されるか

#### 2. 加点

“放射線エウレカ”を【具現化】し、【教育効果】の高い放射線教材となっているか

##### (1) 具現化

- ・応募者自身が放射線について学んだ過程で驚きや感動を伴い「わかった！」と実感した内容“放射線エウレカ”が、明確化・精緻化できているか（明確化・精緻化する過程での努力が説明できているほど高く評価する。）
- ・“放射線エウレカ”を具現化した放射線教材は、シンプルに、わかりやすく明快な内容となっているか

(2) 教育効果

- ・教育効果が高い教材となっているか（学校等の先生が授業等で活用しやすい教材となっているほど高く評価する。）
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ったアクティブ・ラーニング教材となっているか
- ・放射線について学ぶ児童生徒の思考力・判断力・表現力等を育む内容となっているか

以上